



希望を感じられる世の中に

ちゅらゆい

NPO法人



2024-05 ちゅらゆい Annual Report 年次報告書

ごあいさつ

大きな転機の年だった 2024 年

那覇市とうるま市での体制を見直し、うるま市で行っていた 3 事業を分社化。 ちゅらゆいは大幅に規模を縮小し、第二の創業期として、スタッフや理事、子どもたちと思いを共有し、たくさんのチャレンジを重ねた一年となりました。

新たにスタートした「アシタネ・ワークス」では、若者と一緒に働き方を考え、在宅でも働ける仕組みを模索しています。「ユースセンターアシタネ」では、若者たちが自らイベントを企画し、夜間の居場所づくりを進めてきました。日中の「kukulu」はもちろん、高校生年代に特化した支援「kukulu 高等部」も本格的に始まり、子どもから若者までそれぞれのライフステージに応じた支援と、つながりができつつあります。

こうした歩みを支えてくださった皆さまのおかげで、今年度は社会貢献財団や米日財団を通じた表彰もいただきました。心より感謝申し上げます。

最後に、2010 年の法人設立以来、初めてのアニュアルレポートを皆さまにお届けできることを、とても嬉しく思っています。これを機に皆さまとずっと関係が深まり、新しい出会いが生まれ、一人でも多くの子ども、若者が笑顔になれるよう、これからも歩んでまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

金城 隆一
代表理事



ちゅらゆいのあゆみ

2007 年	沖縄で活動スタート	2019 年	うるま kukulu（うるま市）開所
2010 年	法人設立		アシタネプロジェクト 開始
2011 年	コミュット！（うるま市）開所	2023 年	ユースセンター・アシタネ（那覇市）開所
2013 年	公設民営居場所第一号 kukulu（那覇市）開所	2024 年	ちゅらゆい分社化
2015 年	kukulu（那覇市）閉鎖		ビジョン ミッション刷新
2016 年	kukulu（那覇市）再スタート		アシタネワークス開所
2017 年	コーディネーター事業 開始		kukulu 高等部事業開始（いずれも那覇市）
2018 年	b&g からふる田場（うるま市）開所		
	シェアハウス YUKULU（那覇市）開所		

わたしたちについて



2024 年、ビジョン・ミッション・行動指針を作成するため、スタッフでちゅらゆい合宿を行いました。



Vision ちゅらゆいが目指す未来

全ての人の尊厳が守られ、
認められている社会

ちゅらゆいの行動指針

- 1 個性豊かなチームをつくろう
- 2 たんきゅう（研究／探求）し続けよう
- 3 誰にでも公平でいよう
- 4 「なんとかなるさ！」でやってみよう
- 5 活動家でいよう
- 6 きく（聞く／聴く／訊く）力を磨こう
- 7 本気で遊ぼう

Mission ちゅらゆいの使命

子ども・若者をパートナーとし、
1、『子ども若者アドボカシー』の実践
2、『社会的孤立問題』の解消
3、『多様な遊び』の創出
を行います。

ちゅらゆいの活動

子ども支援事業
（kukulu、kukulu 高等部）
若者支援事業
（アシタネワークス、ユースセンター・アシタネ）
普及啓発事業
（講演会、勉強会、企業・団体連携等）

2024年の思い出よせがき

印象に残っていることだったり
振り返って思うことだったり。



牧志から松川へお引越し！



真嘉比に新たな活動場所を構えて、2拠点に！



県外のユースセンター視察へ！

ユースセンターの活動のひとつで、県外視察に行きました。居場所によって利用者の雰囲気だったり、スタッフの接し方が違うように見えました。ユースセンターの利用者だからこそ見える気づきを探したのを覚えてますね～(16歳・男)

ちゅらゆい初の『事務局 広報』ポジション。

何をどう発信しようかと試行錯誤しながら無料デザインツール Canva を駆使して広報物を作ったり、setten さんに伴走支援してもらいながら寄付ページや HP をリニューアルしたりガチャガチャ奮闘しつつも、高校生世代に向けた事業の開始やユースがつくるユースセンターの稼働をしていく中で、**自分だけでは見えない世界、できないことがいっぱいだな、と良い意味で諦められる機会にもなったな一、**と思います。(スタッフ むろふし)



猫をかぶらなくなりました！

振り返ってみると自分自身 kukulu に来て**いい意味で色々変わったなと思いました！**スポーツのプログラムに自分から参加し、人と喋る時に猫をかぶってしまうことも少なくなりました！kukulu に通ってなかったら友達ができなかったり、もっとネガティブ思考になってたと思うのでこれからも kukulu に通って自分にとって良い変化があればなと思います！(17歳・女)



昨年度途中に引っ越しをして、子どもだけでなくスタッフも新しい環境になり、**慌たしい 1 年**だったな、と思っています。就職 or 進学で迷っていた子が進学に舵を切り、進学に向けたサポートをしたこと、Arch to Hoop では子どもたちと一緒に企業の力とイベントコンテンツを考え、実施したこと等、**自分自身も初めて経験することが多かった 1 年**でした。(スタッフ フジノ)

生活リズムが整ってきた！

色々初めての体験が出来た気がします！！特に音楽ワークショップが 1 番印象に残ってます！元々音楽の授業とか楽しくて好きだったので楽しく活動できました！！kukulu に通ってから起きる時間が早まったり生活リズムが少し戻ってきた気がします！！**これから初めての体験とか色々してみたいです！！**(14歳・女)

これまで男の子の多い居場所でしたが、女子メンバーを中心に部活を作ったり祭りに出店したり、活動の中心になっていたのが印象的でした。また、**同じ場所で別事業を行うことで、昼と夜で雰囲気が違ったり、自分も夜は利用者として残ってみたり、今までとは違った刺激にまみれた 1 年**になりました。(スタッフ かえで)



「普通の高校生」とは違う道だけど

2024 年夏から通い始めましたが、通う前は、家の外に出ることすら難しかった息子が、今では活動的に過ごしている姿を見ると、当時の不安な日々がまるで嘘のように感じられます。楽しそうに通っていて嬉しいです。人混みや乗り物(閉鎖空間)への不安もありましたが、飛行機で県外に連れて行っていただくなど、貴重な経験を重ねることができました。「普通の高校生」とは少し違う道を歩んでいますが、他ではなかなか経験できないような貴重な体験や、自主的に企画を立てて活動する姿は、**ちゅらゆいだからこそ実現できたことだな、**と思っています。(保護者)

裏方として参加できたのがよかった

Arch to Hoop (バスケット) に撮影と裏方スタッフとして参加できたのが思い出に残っています。プロの仕事を間近にみる事ができました。また、イベントに参加することで、今までに話したことのない人達との交流ができました。そしてなにより、**皆がイベントに楽しく参加している様子が見れて良かった。**僕はもう満足です。改めて、主催してくれた方々には頭が上がらないです。(21 歳・男)



昨年度は kukulu 高等部をスタートし、さまざまな高校生年代の若者と出会えました。**不登校に限らず困りごとを抱えた若者と安心して話せる場が広がり、オンラインでは県内外の高校生とも出会い、楽しく交流できました。**今年もそんな場を広げていきたいです。(スタッフ かようだ)



意外と初めてなことが多くてびっくり

お泊まり会とかお泊まり会とか！花火をやったの楽しかった！意外と初めてなことが多くてびっくりした。**次も初めてなことやりたい！** キャンプ！キャンプしようぜ！(17 歳・男)



自分たちメインで！

女子メンバーで繁多川祭りに売る側として参加し、5 人で一緒に計画を立てたり、商品の値段や食材の値段計算をしたりと子どもたちでメインの部分を考えたりするのがその時はすごく新鮮でした！苦労した部分もあったんですが、みんなで一緒に計画を立てたり、メンバーと一緒に揚げ続けたりするのが**なんだかんだ楽しくていい思い出**になりました！(15 歳・女)



元利用者がアルバイトからスタッフになった早々引率を任せてもらったが、トラブルが起こって色々大変だった件。と思えば、**ドタバタした 1 年**だった気がします(笑)。でも、ここでのプログラムと一緒に作って参加をして、多少の不安を感じつつも全力で楽しむからこそ、そこからメンバーたちがより仲良くなったりと、**私が利用者だった頃と変わらない kukulu らしさが見えました。**(スタッフ コウヤ)

青春らしい思い出★

夏に kukulu 夏祭りでかき氷やトルネードポテト、焼き鳥などを作ったり、瓶立てやわなげなどの**屋台もどきを作ってみみんなで遊んだこと、お泊まり会で BBQ や花火、カラオケ**などでだいぶ青春らしいことをしてた思い出があります笑(14 歳・女)



気絶するほど楽しい

お泊まり会がすごい印象に残っています。kukulu に通い出して 2 週間くらいでいきなりのお泊まり会だったので緊張もあったけど、結果楽しかったのよかったです。忘年会のカラオケが気絶するほど楽しくて、興奮したのを覚えています。**早く年末が来ないかなあ、**と思う毎日です。(17 歳・男)

挑戦してよかったな～

製菓部を使ったことが思い出に残ってます。メンバーを集めて予算を調達して企画を立ててと、スタッフさんの手を借りつつも最初から**自分たちで企画して動いた活動**なので、うまく行かないこともあったけど挑戦してよかったな～と思いました。(15 歳・女)



2024 年はアシタワークス初年度！立ち上げというのはどんなものでも難しい。例に漏れずワークスも、**まあ激動の 1 年**でした。21 時まで県庁で打ち合わせ、そのままワークスに戻って納期間近の作業。超えるテッペン、転がるレッド〇ル。相棒は 20 歳まで真正のひきこもりだった若者。

B 型事業所って、どこもこんなにカオスなんですか？**2025 年の合言葉は「アレを乗り越えた俺たちなら」。**今年はちょっと楽しんで稼ぎたいです。**【急募】**簡単にそこそこ稼げるまあまあ安全な仕事(スタッフ うえはら)

2024年度ちゅらゆい活動報告

子ども支援事業



居場所引越し
ローカル＆グローバル体験

kukulu
修学旅行生や海外中高生受入！異文化交流

居場所を松川に移転して1年目。新しい地域で活動するにあたり、公民館が主催する祭りに女子メンバーが中心となって出店。そこで得た資金を基に居場所で「製菓部」を立ち上げて活動した。その他にマレーシア、タイ、インドネシアの中高生との異文化交流会を実施。子どもたちは沖縄を紹介するスライドを作成し、言葉が通じない中でもアニメやゲームを共通言語として交流する姿が印象的だった。

色々ある高校生年代と
オンラインでもリアルでも出会いたい

2024年7月～
New **kukulu**高等部
高校生年代にフォーカスした事業開始

高校生年代にフォーカスをあてた包括的支援を、2024年7月～開始。オンライン相談窓口を設置し、約50の支援機関にアウトリーチを行い、地域を超えて相談できる環境を作りました。また、リアルとオンラインの居場所を開設。夜間や年末年始には想定以上の利用があり「家に居づらい」高校生年代に安心できる場所を提供しました。eスポーツ大会や模擬面接会、IT・ゲーム業界のプロとの交流イベントも実施しました。ゲームや雑談から始まり、気軽な場が、進路や将来を考えるきっかけにも。県内外の高校生世代ともつながり、場所を越えて交流が広がっています。2月末には行政や支援機関、企業を対象に、企業連携をテーマにし、シンポジウムも開催しました。

休眠預金活用事業「高校生世代の子育て家庭「くらしと学びの危機」緊急支援事業（資金分配団体：特定非営利活動法人キッズドアとREADYFOR(株)）の助成を受け、「高校生世代への包括的支援と持続可能な仕組みづくり～すべての高校生世代に将来の希望を～」事業として活動

若者支援事業



「福祉」ととらわれない若者の
就労として爆誕

2024年7月～
New **若者支援事業**アスタネットワークス
「働く」を若者たちと一緒に

2024年7月、那覇市真嘉比にて、多機能型事業所として就労継続支援B型と就労移行支援を開始しました。平均月額工賃は3.9万円を達成し令和5年度の全国平均工賃（約2.1万円）を大きく上回る快挙！一方で、生活保護受給者は工賃が収入として認定され、世帯収入に組み込まれる上に貯金ができず、難しいと感じる場面も。IT×エンタメに取り組むTECTECプロジェクトやArch to Hoopへの参画、さらに自主企画によるオンライン勉強会を実施し、「仕事を受注する」だけでなく、「一緒に仕事を考え・つくる」チャレンジも。引き続き、新しい仲間（利用者）を集めるため、営業活動も行っています。



普及啓発事業

その他 企業・団体連携 受賞歴

- 【企業・団体・地域連携】
- ・一般社団法人 Arch to Hoop沖縄
- ・一般社団法人 プロジェクト希望
- ・一般社団法人 楽友協会
- ・株式会社 TECTEC
- ・認定NPO法人 ACE

- 【受賞歴】
- ・社会貢献者表彰(2024年)
全国表彰として活動が評価され、表式にて受賞
- ・ロサンゼルス・ドジャース 助成金授賞(2025年)
米日財団との共同により、国内の子ども支援団体として選出

こんなところから？！の
ビックリ表彰！



イベント・講演会等

主催イベント(ちゅらゆい企画)

開催日	イベント名
2024/08/30	ノムキフ feat.ちゅらゆい②～Sake Diplomaが選ぶ日本酒と語らう沖縄の未来～
2024/11/26	第2回 勉強会「ひきこもり問題を考える」
2024/12/24	第3回 勉強会「支援者病」
2025/02/02	お夜会:不登校・ひきこもりの子をもつ親のための夜会
2025/02/26	シンポジウム「子どもたちの未来に、今、何ができるのか～企業連携のこれからを考える～」
2025/03/22	第4回 勉強会「激闘！親子で闘った不登校問題」

登壇・外部イベント

開催日	イベント名
2024/11/20	子どもの権利を考えるシンポジウム／那覇市こどもみらい部
2024/11/30	沖縄大学土曜教養講座第607回／沖縄大学地域研究所
2025/01/10	孤立しない社会を地域で生み出す団体と話そう＃18/World in You

元ソニー社長 平井氏ゲスト登壇
「企業連携」をテーマにシンポジウム開催



自分たちが行きたくなる居たくなる
ユースセンターって？ を模索

ユースセンター・アシタネ
ユースのつくるユースセンター

以前から利用していたユースや大学生スタッフを中心に、週2回の夜間開所を実施。事業後半には高等部との連携も生まれ、10代後半から20代が共に過ごす場となりました。ユーススタッフが現場を運営し、常勤スタッフは全国ユースワークキャンプに参加。2023年度から利用している高校生含む3名が県外視察を行い、活動記録冊子「同ZINE誌」も制作しました。

ユースが主体となることで、居心地の良い「心の支え」となる居場所に。利用者からは「仕事や家以外の居場所」「オンラインで顔を合わせると元気が出る」といった声が寄せられ、安心して交流できる大切な場所になっています。

赤い羽根 ポスト・コロナ(新型コロナウイルス)社会に向けた福祉活動応援キャンペーン「居場所を失った人への緊急活動応援助成」第9回(助成元:中央共同募金会)の助成を受け、「居場所を失った経験のある若者とつくるユースセンター事業」として活動

ちゅらゆいパートナーからメッセージ



林 かなこ 様
琉球大学教育学部 4 年
学生ボランティア / kukulu 高等部スタッフ

ちゅらゆいは、普通にありそうで意外とない場所

2月に行った音楽発表会が特に印象に残っています。ピアノに初挑戦するメンバーと連弾の練習をするのがとっても楽しかったし、音楽の面白さを共有できる仲間ができたのが何よりも嬉しかったです！

なんとなくゆったりと過ごせる空間で、誰かと繋がることを楽しんだり、自分のやってみたいを大事にできる、そんな普通にありそうで意外とない場所、ちゅらゆいが本当に大好きです。

大学を卒業し離島に就職したため、ボランティアとしては関わるができなくなりましたが、これからも、ちゅらゆい感全開な居場所をメンバーとスタッフで一緒に作り続けてほしいな〜、と思っています。いつまでも応援しています！！！



平井 一夫 様
一般社団法人プロジェクト希望代表理事
物品寄附 / イベントへのゲスト出演

今後も感動体験の継続的創出を

ちゅらゆいとは、Project KIBO が創設した「感動体験支援基金」を通じて、子どもたちが参加した「北海道スタディツアー」の費用の一部を助成させていただいたことをきっかけに、連携を開始いたしました。以来、子どもたちとの交流や映画鑑賞の機会の提供などを行っています。

また、ちゅらゆい様が主催されたフォーラムへの登壇を通じて、子どもの課題に関する啓発活動にもご一緒させていただいています。今後も、ちゅらゆいとの連携を深めながら、子どもたちの可能性を広げる感動体験を継続的に創出してまいります。



民秋 清史 様
株式会社モルテン 代表取締役社長
最高経営責任者
Arch to Hoop 沖縄 共創パートナー

企業 × NPO で大きなメリットを感じています

NPO 法人ちゅらゆいとモルテンは、2023 年に「一般社団法人 Arch to Hoop 沖縄」を共同で設立しました。この活動は現在、沖縄に加えてモルテンの本社がある広島にも拠点を広げています。子どもたちの可能性を広げるために 3 年間活動してきた中で、私たちは NPO と企業の連携による大きなメリットを実感しています。

多様なリソースを持つ企業と、社会課題に関する専門知識を持つ NPO が協力することで、複雑化する社会の課題をより多く解決できると確信しています。これからも様々な可能性を模索していきます。



大城 伸悟 様
一般社団法人楽友協会おきなわ
ワークショップ・発表会共催

ちゅらゆいのエネルギーとパワーで、いい波に乗れている気が。

毎年、僕たちと一緒に音楽を演奏してくれてありがとう。恥ずかしがり屋さんが多くて、かわいいなア、と心の中でニヤニヤしながら、それを悟られないように涼しい顔をしています。似たもの同士ですね。これからもよろしくお願いします。音楽発表会で、クラシックの名曲にドリフの早口言葉を組み合わせて、歌って踊った「スタッフあるある」。あの名場面、今でも忘れられません。日々、子どもたちとの間でも、まさにその「あるある」が怒涛のように巻き起こっていると思います。

でも、それを笑って乗り切っているのは、スタッフの皆さんのエネルギーとパワーがあってこそ。おかげさまで、私たちの音楽ワークショップも、いい波に乗れている気がします。本当にありがとうございます。

コレからが楽しみ！！

クレープ作り（2024 年だったかな）、あれは楽しかったなー。カフェに、お仕事体験に来て頂いた時も一人ひとり誠実で素敵な子ばかりでコレからが楽しみ！！もうちょっとお手伝いしたいと思っているのに、なかなかできずに不完全燃焼ではあります。また、何かやりましょう (^ ^)



船谷 香 様
沖縄子育て良品株式会社
沖縄県中小企業家同友会
職場体験等受入 / ちゅらゆい理事



岩本 真実 様
一般社団法人 setten
伴走支援 / ちゅらゆい理事

濃い時間を過ごせた

金城さんとの長年のお付き合いからこの一年はかなり濃くかわわりを持たせていただき、2 度ほど居場所にもお邪魔させていただきました。

会計報告

活動計算書（簡易版） からみる 2024 年度のちゅらゆい
2024 年 4 月 1 日 ~2025 年 3 月 31 日まで

Ⅰ 経常収益			
1. 受取会費		110,000	
2. 受取寄附金		779,340	
3. 受取助成金		35,745,084	
4. 事業収益		31,322,168	
5. その他収益		7,352,325	
経常収益計		75,308,917	
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費	人件費	34,423,764	
	その他経費	38,729,317	
事業費計		73,153,081	
2. 管理費	人件費	3,653,458	
	その他経費	6,095,122	
管理費計		9,748,580	
事業活動費用合計		82,901,661	
当期経常増減額		△7,592,744	
Ⅲ 経常外利益			
経常外損益計		27,452,659	
税引前当期正味財産増減額		△35,045,403	
法人税、住民税及び事業税		74,289	
当期正味財産増減額		△35,119,692	
前期繰越正味財産額		56,907,254	
次期繰越正味財産額		21,787,562	

分社化で、約半分の規模に
新体制でスタートです

■支援者の方や団体・法人からのご寄附

kukulu高等部、
コースセンター・アシタネ
の事業実施は
ココからです

■国や自治体、財団などからの助成金

ワークス、若者への工賃
(給料)1年目とは思えない
高水準!やったー!

kukuluは修学旅行生
受入のオーダーにこたえ
るチャレンジもしました。

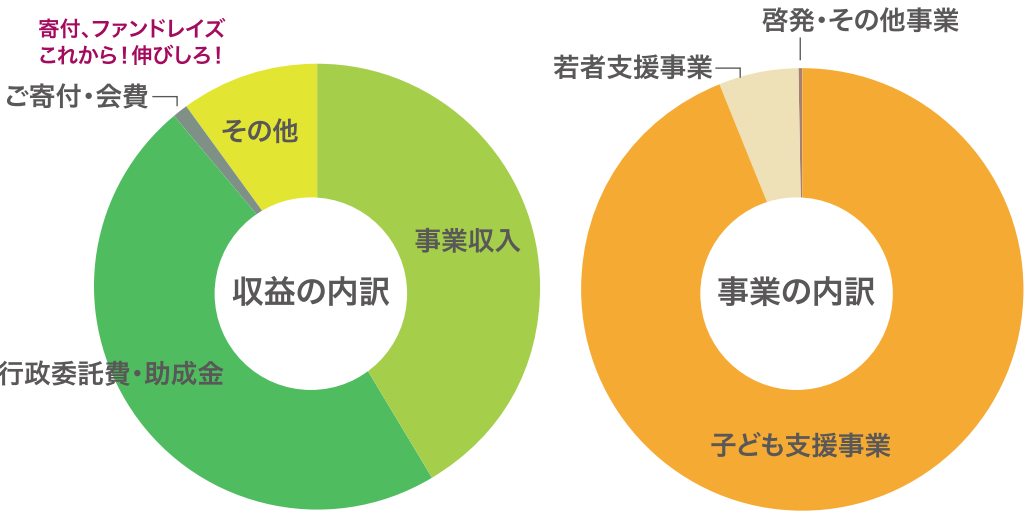
■サービス提供などの事業で得た収益

当期は分社化にともな
う一時的な費用や、新
規事業所の立ち上げが
重なり、赤字となりまし
た。体制づくりと事業の
軌道化に取り組mid!

■年度内の活動で得た収入から費用を
差し引いた結果を示す数値で、団体の
経営状態(黒字か赤字か)を表す

第二次創業期、スタッフ
研修等の人材育成も
強化項目です

まだ繋がっていない層に
届けるために、
広告宣伝等に力を
入れました



寄付、ファンドレイズ

物品寄付

企業・団体より：
嘉利菜ファーム（島バナナ）
伊藤園（飲料等 23 ケース）
株式会社サンシャイン（菓子詰めあわせ）
一般社団法人プロジェクト希望（ムビチケ ×30）
JASS（キャベツ）
那覇市保護管理課（お菓子）
株式会社國場組（映画チケット）

個人より：
與那覇 正義様
個人（Amazon ほしいもののリスト）より：
藤本様 加藤様 普久原様 徳田様 山里様 匿名等
文房具、食料品、ギタースタンド、ミキサーなど多数
他、差し入れやおすそ分けなどもいただきました。ありがとうございます。

マンスリーサポーター

渡部 晶様 宮城 光秀様
小野 幸子様 喜久川 稔様
笹良 剛史様 小濱 辰也様
屋部 千明様 比嘉 弓絵様
増田 敦様 （2025 年 3 月末時点）

金銭寄付

新城 恵子様 呉屋 初枝様
崎原 朝美様 加藤 愛子様
上原 三七子様 富岡 紀一郎・明美様
島袋 ユミ子様

かなさん訪問看護ステーション
琉球美女量産会
他、イベント時に単発寄付もいただきました。

遺贈寄付

1 件

プロボノ支援

富士通プロボノ部
いまいパン合同会社
沖縄子育て良品株式会社
工房地球のかけら

フード支援

おきなわこども未来ランチサポートコンソーシアム
NPO 法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄

※順不同

会員（正会員・賛助会員）

正会員 12 名（五十音順）

糸数 未希様 平中 晴朗様
今木 ともこ様 福島 真実様
草野 智洋様 船谷 香様
寺崎 丈晴様 又吉 樹里様

山崎 新様
與儀 あき様
横江 崇様
吉田 理央様



ご寄付でこんなことができました

寄付でひろがる、まなびとあそび！！—東京での講座+もう一步の学び—

認定NPO法人育て上げネットさんが東京都内で開催した「サイバーセキュリティ講座（応用編）」に参加。講座自体の旅費や交通費は主催者のご支援でまかなわれましたが、今回はせっかくの機会ということで、講座後に延泊して、関心のある場所を訪ねる旅をしました。

その延泊の宿泊費・交通費に、寄付金を活用させていただきました。沖縄や離島にいと、県外へ出て実際に見たり体験したりする機会は限られています。寄付によって、「行ってみたい」と思っていた場所に足を運び、新しい気づきやつながりを得ることができました。



「興味のある場所、行ってみたい場所を出て行ってきた！
寄付のおかげで、“やってみたい”が“やってみた”になりました。」

寄付は、学びの“その先”を後押ししてくれる力です。

kukulu の子どもたちを描いた漫画「居場所をください」で、まず知ることからはじまるのも応援の一歩です。



協働プロジェクトの事例

人材育成

（株）モルテン、（株）麻生との「バスケットを通して体験格差の社会課題にアプローチする」共創プロジェクト実施。社内の人材育成の場にも。【Arch to Hoop 沖縄】

音楽家による体験の場

プロの音楽家の方々が体験の機会を提供する（一社）楽友協会おきなわによるワークショップ。年に一回発表の場も。

チャリティーイベント

SakeDiplomaであり若者支援に関わる方が主宰の日本酒を飲むと寄付になる「ノムキフ」を共同開催。

寄付の詳細は、ホームページをご覧ください。
QR コードからアクセスするか「ちゅらゆい寄付」で検索！！



「HP（QR コード）からが難しい」「もう、すぐにでも応援したい！」速攻寄付したい方はこちら！ 振込をお願いします。

【振込先】
琉球銀行 壺屋（ツボヤ）支店
普通口座 0622400
オキナワセイショウネンジリツエンジヨ

その他にも〇〇の寄付でこんなことができました！

島バナナ（農家さんから直送）とミキサー（Amazon ほしいもののリスト）のご寄付で！

生野菜やフルーツをなかなか口にすることがない子どもたちがスムージーを「うまい！」とぐびぐび！

映画チケットのご寄付

行きたいと思って一回当たりの金額が結構かかる…。自分のための楽しい時間を過ごす機会になり、子どもたちからは「映画好きにはうれしい！」「観に行くのがたのしみ」の声が！

個人サポーター

継続寄付

マンスリーサポーター
毎月 1,000 円～
各コース詳細は Web にて

都度寄付・募金

単発 1,000 円から
できる寄付

遺贈寄付

遺贈・相続した遺産
からのご寄付

物品寄付

Amazon の欲しいもの
リストから

企業サポーター

継続寄付

マンスリー（年額）
サポーター
毎月 30,000 円～

都度寄付・募金

単発一口 50,000 円～
企業様の店舗や
オフィスに募金箱設置

協働プロジェクト の実施

企業研修依頼や
タイアップチャリティ
イベントの開催等

物品寄付

企業の商品や
食料等のご提供



希望を感じられる世の中に

NPO法人
ちゅらゆい

特定非営利活動法人

沖縄青少年自立援助センター ちゅらゆい

連絡先（代表）

〒902-0062 沖縄県那覇市松川 2 丁目 1-1 D クレスト 1 階

TEL : 098-943-8502

e-mail : info@churayui.org

HP : <https://www.churayui.org/>

制作デザイン : アシタネットワークス

編集 : ちゅらゆい広報チーム

発行 : 2025 年 10 月

ちゅらゆい web

HP <http://www.churayui.org/>

FB <https://www.facebook.com/npo.churayui>

instagram

kukulu 高等部 @youth_kukulu

アシタネットワークス @ashitanetworks_okinawa

ユースセンター・アシタネ @youth_ashitane

ちゅらゆい HP はこちら



あまり語られていない
代表金城のコラムあります

